

大分市の住民登録人口

昭和48年2月28日現在	
人 口 290,140人 (+1279)	
男 140,812人 (+ 625)	
女 149,328人 (+ 654)	
世帯数 85,840世帯 (+ 328)	

毎月1日・15日発行

おおいた 市報

第642号

昭和48年

4月1日

発行所
大分市役所
編集兼発行人
大分市役所代表者
橋本文治
印刷所 三恵印刷株式会社

(全世帯無料配布)

第一回定例市議会

238億円の大型予算を上程

民生の安定と福祉の向上をめざす

第一回定例市議会が三月十日から三月二十九日まで開かれました。この議会では額三百三十八億円にのぼる四十八年度予算案など四十件が審議されました。

今年初めての市議会で安東市長は提案理由の説明があり四十八年度は民生の安定と福祉の向上を基本方針とし、都市基盤の整備、生活環境の整備保全、社会福祉の充実、産業の振興、教育文化の向上の五項目の主要施策を掲げました。この実現に取り組むため四月には大幅な機構改革(別項参照)を行ない行政の能率化と市民サービスの向上に努めると共に新年度予算ではとくに生活関連施設の整備と社会福祉施設とりわけ老人福祉の充実に力を入れることにしていきます。そこで今回は五つの主要施策について紹介しましょう。

(都市基盤の整備)

急激な人口増加による都市化に

充実、産業の振興、教育文化の向上の五項目の主要施策を掲げました。この実現に取り組むため四月には大幅な機構改革(別項参照)を行ない行政の能率化と市民サービスの向上に努めると共に新年度予算ではとくに生活関連施設の整備と社会福祉施設とりわけ老人福祉の充実に力を入れることにしていきます。

(社会福祉の充実)

老人福祉、児童福祉の向上をさ

らにおし進めるため三十三億三千

万円をもって老人福祉センターを

かねた社会福祉センターの建設、

老人憩いの家二ヵ所を新設、敬老

年金を七十五歳に引き下げ、年金

額も増額、三歳未満の子供を中心

とする保育所を新設します。

(産業の振興)

今年度は農業の振興および中小

企業対策を中心に二十億三千万円

をもって自立経営農家の育成、経

営規模の拡大、中小企業の設備近

似しています。

(教育文化の向上)

人間形成を目指す教育には二十

五億三千万円を計上し教育施設の

整備、情緒障害児学級の新設、弱

視、精薄児学級の増設などを図る

ことによっています。

(新年度の事業は四月十五日号

にて詳しく紹介します。)

端行政の円滑化を図るために行なわれたものです。

新自治区の自治委員には次の方

を委嘱しました。

▽南春日町 伊藤則益氏

▽新春日町 半田昇氏

▽新春日町 鶴大穂鶴

▽新春日町 岩崎田崎

▽新春日町 上原木曜日休日を行ないます。

△南春日町 木曜日休日を行ないます。

△南春日町 上原木曜日休日を行ないます。

大分市の行政機構（市長部局）



